

■ 四方記念地球環境保全研究助成基金の助成実績

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	助成金額※
●第1回(平成2年度) ・ヒマラヤ地域の湿原植物の種の保全についての基礎的研究	宮本太	東京農業大学農学部助手	35万円
●第2回(平成3年度) ・ボルネオ島の熱帯山地林に見られるラフレッシュの保護について	佐藤卓	富山県立高岡高等学校教諭	70万円
・アホウドリの繁殖状況調査と保護のための基礎研究	長谷川博	東邦大学理学部講師	50万円
●第3回(平成4年度) ・パプアニューギニア低地自然環境における生業活動とマラリア	中澤港	東京大学医学部人類生態学教室助手	80万円
・ネパールヒマラヤ高山帯における人為的影響度を指標する植物種の選定に関する研究	池田博	東京大学総合研究資料館植物部門大学院	60万円
●第4回(平成5年度) ・パプアニューギニアにおけるトリバネアゲハ類の生態とその保護について	野間口真太郎	佐賀大学教養部生物学教室助教	80万円
・小笠原諸島におけるハナバチ類の生態と固有植物種への訪花性の研究	郷原匡史	島根大学農学部昆虫管理学的研究室大学院生	70万円
●第5回(平成6年度) ・砂漠化が進行する中国・毛烏素砂漠における自生低木林群落の動態解明とその保全に関する研究	大窪久美子	千葉県立中央博物館学芸研究員	40万円
・環境指標としての熱帯河川の水生昆虫群集	林文男	東京都立大学理学部生物学科研究生	30万円
●第6回(平成7年度) (該当者なし)			
●第7回(平成8年度) ・北太平洋における海洋哺乳類に対する汚染調査	刈屋達也	北海道大学大学院獣医学研究科大学院生	50万円
●第8回(平成9年度) ・スリランカのアジアゾウに関する保全生態学的研究	ウダヤニ・ローズ・ヴェラシハ	東京大学大学院農学生命科学研究科大学院生	50万円
●第9回(平成10年度) ・農山村社会の経済・社会・自然環境が山村から都市への人口流出に及ぼす影響ーフィリピンを事例としてー	柴崎茂光	東京大学大学院農学生命科学研究科大学院生	50万円
●第10回(平成11年度) ・ボルネオ島におけるカミキリモドキ科甲虫の多様性とその訪花性に関する基礎研究	溝田浩二	北海道大学農学部昆虫体系学講座大学院	50万円
●第11回(平成12年度) ・マレーグマの生殖周期の解明	大沼学	北海道大学大学院獣医学研究科環境獣医科学講座大学院生	50万円
●第12回(平成13年度) ・ジャワクマタカ保護のための生態の解明	金田大	京都大学大学院理学研究科修士課程	50万円
●第13回(平成14年度) ・野生復帰過程におけるオランウータンの行動学的研究	久世濃子	東京工業大学生命理工学研究科博士課程	50万円
●第14回(平成15年度) ・ボルネオ島の熱帯雨林の持続的保全を目指した樹木と菌類の共生関係の解明	里村多香美	京都大学生態学研究センター講師	50万円

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	助成金額※
●第15回(平成16年度) ・ボルネオ島とジャワ島の熱帯雨林におけるロタンの保全生態学的研究	渡辺名月	鹿児島大学大学院理工学研究科博士課程	50万円
●第16回(平成17年度) ・複数コミュニティを対象とする野生動物保全の意義	目黒紀夫	東京大学大学院農学生命科学研究科	50万円
●第17回(平成18年度) ・アフリカ熱帯雨林において生活者が持続的に利用可能な小河川の動物資源量の推定	大石高典	京都大学理学研究科博士課程	50万円
●第18回(平成19年度) ・地方分権化後のインドネシアにおける「慣習林」経営の成立条件に関する研究	大田真彦	筑波大学大学院生命環境科学研究科博士後期課程	50万円
●第19回(平成20年度) ・乾燥処理がマレーシア熱帯多雨林における土壌呼吸の発生過程にもたらす影響	大橋瑞江	兵庫県立大学環境人間学部准教授	47万円
●第20回(平成21年度) ・熱帯雨林の食物網に土地利用の変化が及ぼす影響	兵藤不二夫	岡山大学異分野融合先端研究コア助教	50万円
●第21回(平成22年度) ・ボルネオ島におけるアシナシイモリの多様性と起源の調査	西川完途	京都大学大学院人間・環境学研究科助教	50万円
●第22回(平成23年度) ・熱帯域における菌寄生植物の共生菌の解明に基づく、新規保護技術の確立	末次健司	京都大学大学院人間・環境学研究科博士前期課程	50万円
●第23回(平成24年度) ・アジア・オセアニアにおけるウミガメに特有に付着するフジツボ類の多様性調査(辞退申出あり)	林亮太	東京大学大気海洋研究所・海洋科学特定共同研究員	50万円
●第24回(平成25年度) ・マダガスカルにおけるアリとヘビの共生に関する研究	児島庸介	京都大学理学研究科生物科学専攻動物学教室大学院生	50万円
●第25回(平成26年度) ・ボルネオ島産カエル類の繁殖生態解明に向けた基礎的研究	江頭幸士郎	京都大学総合博物館・博物館研究員	50万円
●第26回(平成27年度) ・ボルネオ島の熱帯雨林における危急種ビントロングの食性に着目した保全に関する研究	中林 雅	京都大学野生動物研究センター	50万円
●第27回(平成28年度) ・アシナガシロアリの巣に住む好白蟻性昆虫の種多様性と進化史の解明	金尾 太輔	京都大学大学院人間・環境学研究科	50万円
●第28回(平成29年度) ・ボルネオ島熱帯雨林に分布するアリ植物の多様性解明	清水 加那	島根大学生物資源科学部・助教	50万円
●第29回(平成30年度) ・ボルネオ島におけるカエル類の垂直分布調査と種多様性創出機構の解明	福山 伊吹	京都大学農学部森林科学科	50万円
●第30回(2019年度) ・絶滅危惧種メコンオオナマズの摂餌生態解明に資する脊椎骨の安定同位体比解析手法の確立	目戸 綾乃	京都大学大学院情報学研究科	50万円
●第31回(2020年度) ・安定同位体分析によるボノボのコードモの食資源推定	蔦谷 匠	国立研究開発法人海洋研究開発機構	48.2万円
・マダガスカルの熱帯落葉乾燥林におけるトカゲ類の果実食と種子散布共生系への貢献	福山 亮部	京都大学理学研究科生物科学専攻大学院生	65万円

研究の題名	申請者氏名	所属機関名	助成金額※
●第32回(2021年度)			
・熱帯二次林における森林回復機構とその空間変異の解明	松尾 智成	Wageningen University and Research Forest Ecology and Forest Management Group	50万円
・画像解析を用いた潮間帯におけるジュゴンの海藻利用モニタリング	倭 千晶	京都大学大学院生物圏情報学講座・博士後期課程	50万円
・東南アジアにおけるキグチガエル属 Chalcoranaの種多様性の解明	鈴木 悠理	京都大学大学院人間・環境学研究科・大学院生	50万円
●第33回(2022年度)			
・大規模森林火災マダガスカルの爬虫類の分布と行動に及ぼす影響の評価	伊與田 翔太	京都大学理学研究科生物科学専攻・修士課程	50万円
・ミオンボ林に生息する絶滅危惧種キリンの採食品目とその栄養価の解明	齋藤 美保	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・助教	50万円
・ボルネオマレーグマにおける行動及び個体間コミュニケーション	須崎 菜緒	東京農業大学農学研究科バイオセラピー学専攻・博士前期課程	50万円
・糞のメタゲノム解析によるマレーバクの腸内微生物叢の解明	LIM QI LUAN	京都大学大学院理学研究科生物科学専攻・博士後期課程	48.9万円
●第34回(2023年度)			
・マダガスカル熱帯林における種子散布ネットワークの解明	大河 龍之介	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科	50万円
・インドシナ山岳域のスバトカゲ属の分類・系統学的研究	岡部 晋也	京都大学総合博物館	50万円
・バングラデシュにおける土地利用が樹上棲陸産貝類の遺伝的多様性に与える影響の解明	齊藤 匠	Masaryk University, Czech Republic	50万円
●第35回(2024年度)			
・熱帯雨林の減少がアリの種構成に与える影響	有本 晃一	京都大学地球環境学堂・特定研究員	50万円
・北西太平洋におけるギンザメ(Chimaera phantasma)の絶滅リスク評価	手良村 知功	東海大学生物学部海洋生物科学科・特任助教	56万円
・マダガスカル北西部の熱帯季節乾燥林におけるラン科着生植物の分布様式	駒田 夏生	広島大学 先進理工系科学研究科・助教	50万円
・ラオス・シェンクワンにおけるミツバチ及び蜜源植物の管理手法に関する調査	続木 梨愛	京都大学大学院人間・環境学研究科・博士課程1年	44万円
●第36回(2025年度)			
・カンボジア熱帯季節林の木本性つる植物の生活史特性	糟谷 聡美	名古屋大学大学院生命農学研究科・博士前期課程1年	50万円
・タイワンカモシカの資源利用および他の有蹄類との種間関係に関する研究	高田 隼人	東京農工大学・特任准教授	50万円
・中国と国内のコウノトリ個体群における繁殖に関わる行動形質の比較検証	白井 あやか	兵庫県立大学大学院 地域資源マネジメント研究科・大学院生(博士後期課程)	50万円
・血縁構造に基づくボルネオゾウの繁殖管理および野生復帰方策の提案	田之畑 穂花	京都大学理学研究科・修士課程2年次	50万円

※助成金額は、採択時の決定額を表示しています。